

安全で安心な小林を作ろう

8月26日、防犯キャンペーンが行われました。スローガンに安全で安心な小林を作ろうという願いを込め「AKB26作戦」とネーミング。一日警察署長としてコスモスレディの南崎舞さんが戸締りや自転車施錠を呼びかけました。



熱い火花散らす溶接技術大会

8月27日、宮崎県溶接技術競技会小林地区大会が行われました。【以下結果・敬称略】
■アーク溶接の部▼個人・優勝…三原省一郎▼団体・優勝…(株)峰彰鉄工
■半自動溶接の部▼個人・優勝…出水孝政▼団体・優勝…(株)タネダ



川をきれいに！合同で河川パトロール

8月29日、小林地区大淀川水系河川愛護対策推進協議会合同河川パトロールが行われました。清掃活動や水資源保全条例の研修を実施。須木中河間親水公園では、保育園児らがバケツに入ったヤマメを放流しました。



地産地消の給食や電化厨房が高評価

野尻学校給食センターと西諸県地区学校教育研究会栄養教諭学校栄養職員部会が、学校保健・安全及び給食に関する県教育長表彰を受賞しました。子どもたちの健康づくりや給食充実の功績を認められた2団体は、8月30日、市長へ報告を行いました。



都城高専の生徒が大会結果を報告

8月31日、第48回九州沖縄地区国立高等学校体育大会と第46回全国高等専門学校体育大会で優勝などした市出身の黒木沙織さん(テニス競技)と、黒木智紘さん(柔道)、中島真太郎さん(柔道)が市長を表敬訪問し、市長に結果を報告しました。



林さんは保育園児だった長女を、当時住んでいた都市から祖母のいる小林市まで一人でバスで訪問させたことがあったそうです。

親といることで安らぐ環境を 子育て講演会

8月20日、文化会館で子育て講演会が開催されました。講演では三松保育園の林和豊園長が「しつけの仕掛け」と題し登壇。自身の子どもの頃の体験や、子育てのエピソードを交え「親子の会話の楽しさや自主性・社会性・協調性の大切さを子に教えることが大切」と話していました。



6史跡には、十三塚道路標石などあまり知られていない史跡も含まれ、「人知れず残る史跡を知ってほしい」と丁寧に説明をしていました。

身近な歴史の魅力を感じて 市内の文化財を探访

8月24日、市ガイドボランティア協会による文化財探访が行われました。応募者24名が、ボランティアガイドの説明の受けながら、石氷橋や永久井野隠れ念仏洞など市内6史跡を巡回。同協会副会長である大坪由熙さんは「地域の歴史に触れて、その価値を学んでほしい」と話していました。



【以下結果・優等および金賞のみ・敬称略】

- ハニービーナスの部
▼協議会…山之口俊光
- ナシ・豊水の部
▼協議会…小原修一 ▼J A…西ノ村純一
- ブドウ・ニューピオーネの部
▼協議会…谷山正人 ▼J A…外種子田和人
- ニューベリーAの部
協議会…新田洋一

ブドウのハニービーナス初登場 今年も梨・ぶどうの出来は上々

8月17日、市果樹農業振興対策協議会とJ Aこばやしの梨・ぶどう生産部会によるブドウの早生品種・ハニービーナス品評会が西諸県農業改良普及センターで開かれました。また、31日には梨・ぶどうの品評会を実施。同対策協議会の谷山作治会長は「長雨で収穫時期が遅れたが、味や糖度など例年と変わらない出来栄え」と今年の出来を話していました。



◀ハニービーナスは、お盆までが食べ頃の早生品種。食味が良く糖度も高いので、お中元などにピッタリです。

3年間の集大成に舌鼓 小林西高の三つ☆レストラン

8月19日から20日、小林西高調理科による「三つ☆レストラン」が、すきむらんどに期間限定でオープンしました。生徒37人が、3年間培ってきた調理や接客など飲食業に関する業務を実践。ビュッフェ形式の1日150食限定で、実習で学んだメニュー28種類が並びました。



和食や中華、西洋料理のほか、デザートも豊富。参加者は、気に入った料理を皿に乗せて、高校生の料理に舌鼓を打っていました。



ホームステイした佐藤明日香さんと佐藤優奈さんは「小林は素晴らしい所。あつという間の楽しい時間だった」と話していました。

小林市で心身を癒して 被災地の子どもたちがホームステイ

8月17日から19日まで、宮城県気仙沼、石巻市の小中高生とその保護者など23人が小林市でホームステイをしました。これは被災地を支援する市民団体・チーム小林47が企画。18日は須木地区体育館で小林市の子どもたちとドッジボールやゲームなどで交流を深めました。